

1 県立高等学校の適正な学校規模・配置の在り方

検討課題	検討状況・方向性	青森県高等学校長協会の意見
<p>1 統廃合の基準 1学年1学級規模の学校について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回提案された意見の中で「校舎制はできるだけ維持する必要があるが、定員の半数に満たない状況が続く場合は、一定年数を決め、廃止の検討をする必要あり。」に賛成である。一定年数は2年でよいのではないか。 ・ 長期的な視野に立って判断すると、ある段階で1学年1学級規模となった学校がその後大幅に規模を回復することは予想されにくく、基本的には統廃合を積極的に進めていくべきであると考えます。 したがって、数値の基準を原則として設定する必要があり、例えば <ul style="list-style-type: none"> ・ 志願者数が2年間継続して定員の60%に満たない場合 ・ 志願者数が3年間継続して定員の50%に満たない場合 ・ 志願者数が3年間継続して定員の60%に満たない場合 が考えられます。 しかし、あくまでも教育の機会均等などの面を考慮して例外となりうる場合があることを付け加えておかなければならないと考えます。 ・ 県民や地域住民の理解を得るために、3年間の入学者選抜の志願倍率や募集定員に対する充足率が50%を切った時点で統廃合とする。 但し、これだけでクリアが難しいと思われる時は、通学区域は全県一区だが地元の在籍率50%や他の諸条件も考える。 ・ 第1次志望調査において、2年間連続して入学希望者が定員数の半数に満たないときは、原則として募集停止とする。 ・ 近隣の県立高等学校への通学が、著しく困難な地域の学校にあっては、別途考慮する。 	

1 県立高等学校の適正な学校規模・配置の在り方

検討課題	検討状況・方向性	青森県高等学校長協会の意見
<p>その他</p> <p>2 地区毎の学校配置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の校舎制は、本校へ統合する。特別な地域の条件がある場合は、ア、イ、ウを検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ア 中学生の第1次志望者が0.6倍以下かつ地元希望者が6割以下の場合は、本校へ統合する。 イ 最終入学者数が募集人員の8割未満が2年連続した場合は、本校へ統合する。 ウ 地域性を考慮し、上記アおよびイの例外として、交通が不便な地域は、入学者数が募集人員の4割未満が2年連続した場合は、本校へ統合する。 ・ 県立高等学校においては、1学年の学級規模は原則として2学級以上とする。 ・ 第1次志望調査において、2年間連続して入学希望者が定員数の半数に満たないときは、定員数を減ずる、または、統廃合の対象とする。 ・ の上記は建前に過ぎないかも分からない。実態として 一部校舎制となった学校は、交通の便の良いところもあり、統廃合を計画の中に入れても良いのではないか。 ・ 定時制の存在意義を認めるが、地区毎に中心校を決め、統廃合すべき。特に中南地区の場合、尾上総合高校含め、1校に(2校経過1校へ)集約すべき。 ・ 工業高校の定時制は、今後どうしても必要かを検討すべき。(企業は高校生としての知識教養を身につけて入社すれば、技術的なことは会社が訓練すると言っているという。) ・ 青森市内の普通高校数(浪岡のぞく)はこのままでよいのか。統合するとすれば、どの時期どんな条件で統合すべきなのか要検討。 	

1 県立高等学校の適正な学校規模・配置の在り方

検討課題	検討状況・方向性	青森県高等学校長協会の意見
	<p>・ これまでの、高等学校グランドデザイン会議の審議(検討会議、専門委員会、地区部会)の経過を考えると、一定の学校規模が学校教育(教科指導、特別活動等)の活性化に有用であり、地区の中核となる学校では6学級規模(三市では6学級以上)、その他の学校でも4学級以上が望ましいとされてきた。</p> <p>職業学校・総合学校においても、職業教育・教科指導と共に、部活動等の奨励が大きな意味を持つ。その意味でも、普通高校と同じようにある程度の学級規模を維持することが重要であるとする。</p> <p>学校名をあげず(空欄として)、「青森県の将来を担う人材の育成」、「他県の高校生と競い、進路志望を達成する学力の育成」の観点から、統廃合を含めた学校配置を考えていきたい。</p> <p>・ ア 各地域の特性を(事情)十分に考慮する必要がある。画一的に結論を出せない。</p> <p>イ 県内6地域と区分した場合、校種を現在の配置を基準とし、学級減を図る必要がある。ただし、県全体の産業構造や地域の産業構造及び中学生の希望に合わせ、専門高校を配置することも必要である。さらに青森県の将来像にも対応できるようにするべきである。</p> <p>ウ 同一地域に同種の専門高校を配置する必要がないのでは。</p>	